



新庁舎建設現場

問 国政混乱にももの申すべき

答 市への影響大
国県に強く要望



創政会代表
藤原 憲男

問 後期高齢者医療制度や道路特定財源の行方など国政が大混乱しています。軽薄な事務や背信的な行為等、ことごとく国民の想いや期待を裏切っています。人心と国家とがまるで

かけ離れた所にあるように思えます。

国政上の問題とは言え、最終的には全て市役所が対処しなければならぬはず。市としてはこれらの制度や法令等をどう

論議し、どう対処しているのか。

なかには宍粟市に合わないもの、本来の趣旨と違うものなどもあるはず。ただ決まった事として市民に伝えるだけでは解決にはならない。県や国にこそ物申していくべきです。その姿勢が市民を勇気づけ、ときには施策の改善につ

ながるのではないか。宍粟市としての理念をしっかりと持つべきです。

市長

これらの問題は市への影響が大きい。重要課題については定期的に開催する市民局長、部長会議や政策会議の中で慎重に論議しています。また市長会などを通じても国や県に要望や意見を述べています。道路財源については特定で一般であれ宍粟市には欠かせないと認識しています。

問

新市庁舎の建設をいち早く掲げられた。多くの強い反対があつたことは全市民の注目を集めたが、必要性や効果・効率を繰り返し説明され一応の理解を得られたとしています。しかし、今もなお根強い反対もあります。市民局のあり方など市政組織の反論もあります。その中で、この事業は中断や見直しをすることなく一貫して早期建設を通された。行政に限らず日常生活や人生の中でも、少し立ち止まって考

えてみることも大事です。その方が後々にはうまくいくことも多い。これだけの反対の中で立ち止まることなく通された理由は他にあるのではないか。

市長

10年間における120名の人員削減や財政健全化など合併の目標・成果を達成するためにはどうしても必要な事業と判断しました。将来の市政の効率化と併せて決断しました。他の理由はありません。

問

マスコットキャラクターの募集をしているが既に制定した市の木、市の花との整合はどうか。宍粟市のイメージアップを図るためとしているが、ではどんなイメージと思うのか。又外部からの見たイメージはどう写っているか。それを検証しないとイメージアップにならない。

市長

自然豊かな森林のまちのイメージが基本的な考え方になると思います。